

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

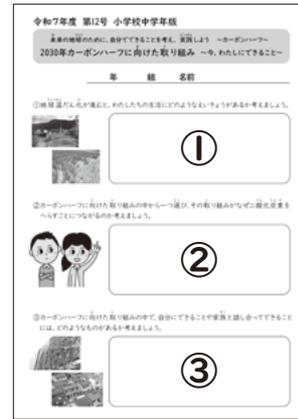
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル 推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
2030年カーボンハーフに向けた取り組み ～今、わたしにできること～

表題



ねらい

- ・地球温暖化の現状と影響について考える。
- ・カーボンハーフに向けた様々な取り組みを知り、それぞれの取り組みが、なぜ二酸化炭素を減らすことにつながるのかを考える。
- ・暮らしの中でできるカーボンハーフに向けた取り組みを考え、実践しようとする態度を育む。

本教材で扱う 主な内容

全国の猛暑日の年間日数の推移、地球温暖化と気象災害、カーボンハーフに向けた取り組み

主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を基に、地球温暖化とその影響について考える。	○掲示用教材①のグラフを示し、猛暑日の年間日数が増加傾向にあることを説明する。 ○地球温暖化が進行すると、自分たちの生活にどのような影響があるのか話し合うよう声掛けをする。	◆掲示用教材① ワークシート①
○推進資料②を見て、「カーボンハーフ」について知る。	○東京都が掲げる「カーボンハーフ」について説明する。 ○カーボンハーフスタイル推進資料1号を活用する。	◆掲示用教材② ◆カーボンハーフスタイル推進資料1号
○推進資料③を見て、カーボンハーフに向けた取り組みについて知る。	○カーボンハーフに向けた様々な取り組みがあることを説明する。 ○例示された取り組みが、二酸化炭素削減にどのようにつながるのか質問する。 ○これまでのカーボンハーフスタイル推進資料を活用する。	◆掲示用教材③ ワークシート② ◆カーボンハーフスタイル推進資料1～11号 ■広報東京都 こども版 「脱炭素」に向けた社会づくり 
○推進資料③④を見て、カーボンハーフに向けた取り組みの中で、自分にできることや、家族と話し合っていることを考える。	○掲示用教材③に例示された行動を参考に、自分や家族でできることを考えるように促す。 ○カーボンハーフに向けて、家庭で話し合うことの大切さに気づくように声掛けをする。	◆掲示用教材③④ ワークシート③ ■東京都環境局 「エコアクション」について調べてみよう! 

